

第32回鹿児島県高等学校新人ローイング競技大会 (全国高等学校選抜競漕大会九州地区予選会県予選) 要項

1. **主 催** 鹿児島県高等学校体育連盟 鹿児島県教育委員会
2. **後 援** 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会 鹿屋市 鹿児島県ローイング協会
3. **主 管** 鹿児島県高等学校体育連盟ローイング専門部
4. **期 日**

代表者会議	令和7年10月17日(金) 11時30分
開 会 式	令和7年10月17日(金) 12時00分
競 技	令和7年10月18日(土)・10月19日(日)
5. **会 場** 輝北ダム特設ローイングコース
6. **競技規則** 日本ローイング協会競漕規則に準拠する。
7. **競技方法** 1000mの距離で着順を決定する。トーナメント制で実施し、準決勝までは敗者復活戦を行う。ただし、出漕クルー数が6クルーに満たない種目は2回以上レースを行い、先に2回1位でゴールしたクルーを1位と見なす。1位の着順が各レースで全て異なる場合は、全レースの着順の合計値によって順位を決定する。上記の方法で決定しない場合は、実施したレースの中で最も速い記録を出したクルーを上位とみなし、順位を決定する。2位以下についても同様とする。なお、2回目のレースで着順が確定した場合は、3回目のレースは参考レースとする。また、クルー数によるレース形式については、必ずしもこの限りではなく、配艇できる艇数や天候等の状況に応じて競漕委員会が決定する。

8. 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届けること。

【参考】引率が認められる職員とは、校長・教頭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・講師(常勤)・部活動指導員・実習助手である。ただし、実習助手については、以下の条件を全て満たし、校長が承認した者である。

- 1 正規職員であること
- 2 当該部活動の指導を常時行っていること
- 3 教員免許状の普通免許状を有していること又は免許法認定講習等で生徒指導に関する単位を1単位以上取得し、かつ6年以上の勤務経験があること

- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

但し、(2)について全国高等学校体育連盟各競技専門部における別途規定が定められている場合は、その規定に従うことを原則とする。

9. 参加資格

- (1) 本年度県高体連加盟校在籍学生で1・2年生に限る。但し、休学中、留学中の生徒は除く。

- (2) 年齢は平成19(2007)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 複数校合同チームの大会参加については、本連盟が別途に定める「複数校合同チーム大会参加規程」に従う。
- (5) 転校・転籍後6か月未満(水泳1年未満)の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りではない。(大会出場許可申請書を提出)
- (6) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (7) 公益社団法人 日本ローイング協会加盟団体登録選手であることとする。
- (8) その他の事項については全国大会要項に準じる。
- (9) 参加資格の特例による学校(生徒)の参加については、鹿児島県高等学校新人体育大会開催基準要項の「参加資格の特例」並びに「大会参加資格の別途に定める規定」とおとりとする。
- (10) 外国人留学生の参加については、男女とも1校1名までとする。

10. 参加申込

参加申し込みの際には、「個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。

(1) 申込締切日 令和7年10月8日(水) 15:00までに必着

(2) 申込方法 当該学校長の責任において、所定の参加申込書により1部作成し、作成した参加申込書をPDF化し、PDF化したファイルを指定のファイル送信システムにアップロードして申し込む。同時に下記連絡先へPDF化前のデータを送る。

(3) 申込先

ア 県高等学校体育連盟事務局が指定するファイル送信システム

イ メール 若松 俊成 (川内商工高等学校)

wakamatsu-toshinari@kago.ed.jp

(4) 参加申込書提出後に出場を辞退しなければならなくなった場合(学校単位)は、速やかに競技専門委員長および県高体連事務局に連絡し、「大会出場辞退届」を県高体連事務局に提出すること。

11. 大会参加負担金

- (1) 参加申込生徒一人当たり500円とし、参加申込書に記載された選手数(マネージャー等は除く。)を乗じた額とする。
なお、大会直前に選手の追加があった場合は、選手数に加える。
- (2) 団体戦と個人戦を実施する競技については、参加を予定する実人数とする。(重複しての徴収はしない。)
- (3) 大会参加申込後に体調不良等により大会に参加しなかった選手がいても、参加申込書に記載された選手数分の金額を徴収する。
- (4) 大会参加負担金は、後日、高体連事務局から各学校に請求する。

12. 競技種目 男子舵手付きクォドルプル 男子ダブルスカル 男子シングルスカル
 女子舵手付きクォドルプル 女子ダブルスカル 女子シングルスカル

13. 参加制限

- (1) 舵手付きクォドルプルは補漕を含め1クルー7名以内、ダブルスカルは3名以内、シングルスカルは補漕なしとする。
- (2) 同一校から同じ種目に出場する場合は、3クルーを上限とする。

14. 表彰 各種目とも3位まで表彰する。

15. 公式練習 令和7年10月17日(金) 9時00分～16時00分までとする。

16. 代表者会議

令和7年10月17日(金) 11時30分から輝北ダム特設ローイングコースで行う。この会議に参加しないクルー、団体は棄権とみなす。

17. 組合せ

組み合わせ抽選は、競漕委員会がその責任において行う。競漕日程及び諸事務連絡については県高体連事務局ホームページに掲載する。

18. その他

- (1) 各種目1位及び2位に入賞したクルーは、熊本県菊池市斑蛇口湖ボート場で開催される全国高等学校選抜競漕大会九州地区予選の出場権を獲得する。ただし、同一種目に同一校から2クルー出場することはできないため、1位、2位が同一校の場合は3位を繰り上げ出場権獲得とする。
- (2) 日程やレース形式またはその他の変更については、競漕委員会が決定することとする。